

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期諫早市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

長崎県諫早市

### 3 地域再生計画の区域

長崎県諫早市の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地域の現状

諫早市は、平成28年3月に「諫早市長期人口ビジョン」を策定し、2060年（令和42年）に13万人程度の人口水準を目指す将来展望を示すとともに、5か年の目標や具体的な施策をまとめた「諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し取組を進めてきた。

企業誘致などによる雇用創出数の確保や子育て支援などのサービス向上により社会動態がプラスに転じるなど、一部においては施策の効果が見られるものの、人口は平成27年の約13万8千人（国勢調査）から令和2年は約13万4千人（国勢調査）に減少している。国立社会保障・人口問題研究所の令和5年推計では、2050年は約9万4千人と見込まれている。

社会動態については、平成17年の新市となって以降、社会減が続いていたが、近年の企業誘致等による雇用創出数の増や子育て支援等により、令和3年以降社会増に転じており、令和6年には464人の社会増となっている。

一方、自然動態については、平成22年に自然減に転じて以降減少が続いており、特に近年の出生数については、令和2年に1,000人を下回り、令和6年には784人まで減少し、死亡数を差し引くと1,014人の自然減となっている。

これらの結果、人口動態としてみると、近年はマイナス傾向が続き、人口減少に歯止めがかかっていない状況である。

## 4-2 地域の課題

人口減少が進展すると、日常生活に不可欠な日用品を購入できる小売店舗の減少、民間利便施設の撤退や空き店舗の増加、タクシーや路線バス、鉄道の交通機関の縮小、これまで自治会等が中心となってきた地域コミュニティ活動（清掃活動、体育行事、お祭り、支え合い、防犯活動）の縮小、担い手（人手）の不足による農業や製造業など、第1次・第2次産業の活力低下といった課題が生じる。

## 4-3 目標

### 【概要】

これらの課題に対応するため、引き続き市民や産業界、大学、金融機関、関係団体等と市が共通認識を持って力を合わせるとともに、国・県・関係市町と連携しながら、本計画において下記の基本目標を掲げ、少子高齢化・人口減少対策の充実・強化を図る。

- ・基本目標1 チャレンジできるまち
- ・基本目標2 産業が活力を生み出すまち
- ・基本目標3 人を育む学びのまち
- ・基本目標4 誇りと賑わいのあるまち
- ・基本目標5 持続可能なまち

**【数値目標】**

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	子ども・子育て支援事業計画における教育・保育施設の「確保の方策」(2・3号)	4,230人	4,432人	基本目標1
	病児保育	2か所	4か所	
	「すくすく広場」の来館者数	16,709人	22,500人	
	「すくすく広場」での指導・相談件数	1,922人	2,000人	
	子育て支援ウェブサイトアクセス数	127,684件	150,000件	
	子育て支援センター利用人数	26,226人	31,000人	
	「こども準夜診療センター」において準夜間に毎日受診できる小児初期救急医療サービスの継続	継続して実施	こどもの準夜診療センターの継続	
	乳幼児・小学生・中学生の自己負担が軽減されるインフルエンザ予防接種の継続(接種率)	32%	35%	
	「こどもの城」の年間来館者数	59,824人	70,000人	
	子ども体験活動支援事業の実施件数	20件	25件	

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標	
ア	幼児教育・保育の無償化の実践	3歳以上の幼 児教育保育の 無償化(R1.10 ～) 同時在園 第二子無償化 (R5.4～)	幼児教育・ 保育の無償 化の実践	基本目標1	
	子ども医療費における全対象年 齢での現物給付化の実施(現物給 付の割合)	90.2%	95%		
	学童クラブ数	53クラブ	60クラブ		
	地域子ども教室及び地域未来塾 数	13教室	20教室		
	障害児保育事業	実施施設数 61か所	継続して実 施		
	児童虐待防止に向けた体制の充 実	会議実施回数 58回	継続して実 施		
	日本語教室の延べ参加者数(日本 人と外国人の合計)	290人	350人		
	近隣市町と連携し、令和12年度ま でに定住自立圏等を形成	0	1		
	協定締結大学との連携事業数	25件	30件		
	連携協定締結企業と連携した事 業数(累計)	10件	40件		

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	創業相談件数（累計）	111件	650件	基本目標 1
	創業件数（累計）	72件	300件	
	新規融資件数（設備資金）（累計）	21件	70件	
	長崎県央職業訓練校における職業能力開発（普通課程2年就学）	4人	5人	
	いさはやコンピュータ・カレッジにおける職業能力開発	59人	70人	
	ハローワーク諫早管内の新規高卒就職者地元就職率	65%	70%以上	
	本市ホームページへのアクセス数	226.7万件	290万件	
	ふるさと納税寄付件数	34,814件	57,000件	
	企業版ふるさと納税寄付件数	9件	14件 (R9年度)	
	お見合いシステムの新規登録件数	65件	80件	
	移住相談件数	246件	250件以上	
	移住コーディネーター数	1人	2人	
	支援制度を活用した市外からの移住件数（累計）	30件	70件	
	地域おこし協力隊 隊員数（累計）	2人	10人	

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	県外在住で本市に関わりを持つ 人の人数（諫早市公式LINE 登録者数（県外））	4,505人	6,400人	基本目標1
	地域づくり活動を行う団体の数	67団体	70団体	
	市街化調整区域の土地利用規制 緩和による戸建住宅の許可戸数	68戸	100戸	
	生活拠点等活性化事業」を活用 した宅地開発戸数及び生活利便 施設立地件数	15戸、0事業 所 (R4～6の 平均)	20戸、1事 業所	
	抜本的な土地利用制度の見直し	—	土地利用制 度見直しの 実現（R9年 度）	
	立地適正化計画策定、運用	-	立地適正化 計画 策定、運用	
	アエル中央商店街の歩行者通行 量（平日）	5,263人/日	7,000人/日	
	中心市街地の居住人口	3,837人	4,000人	
イ	認定新規就農者数	23経営体	25経営体	基本目標2
	担い手への農地の集積率	60.9%	80%	
	漁業就業実践研修修了者数（累 計）	2人	8人	
	中小企業者への新規融資件数（創 業者を除く）（設備資金）（累計）	22件	200件	

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
イ	誘致企業数（累計）	0社	3社	基本目標2
	成長発展分野の企業及び本社機能を持つ企業の誘致（累計）	0社	2社	
	市内企業誘致地区における雇用創出数（累計）	0人	2,100人	
ウ	コミュニティ・スクール導入校数	8校	40校	基本目標3
	諫早市地域クラブ数	0クラブ	120クラブ	
	地域人材を活用した職業教育の実施校数	14校	40校	
	高校生・大学生等の職場体験企業の数	4社	10社	
	スマートフォン講習会等の延べ受講者数（累計）	771人	1,400人	
	よろず支援拠点と連携したビジネスに関する相談受付件数	115件 (直近5年間平均)	150件	
	セミナー等参加者	—	200人	
	セミナー等参加者の理解度	78%	85%以上	
	女性の起業塾受講者の起業件数（累計）	1件	20件	
	女性の再就職セミナー受講者の再就職者数（累計）	2人	20人	

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
エ	美術・歴史館来館者数	22,945人	30,000人	基本目標4
	芸術文化交流拠点数	—	1か所	
	スポーツ交流人口	25万人	35万人	
	諫早市コンベンション等開催助 成金 延べ宿泊者数	10,685人	13,000人	
	観光入込客数	210万人	270万人	
	体験観光に係る観光商品やツア ーの造成数(累計)	3件	13件	
	観光消費額(宿泊客、日帰り客 の合計額)	17,928,405 千円	22,410,506 千円	
	延べ宿泊者数	42万人	56万人	
	農水産物ブランド化取組数(累 計)	15品目	21品目	
	市内三漁協の陸揚金額	450,000千 円 (R1～5 年の平均)	464,000千円	
	農業者と商工業者等の連携体 による6次産業化の新たな取組 件数(累計)	41件	56件	
	(一社)諫早観光物産コンベン ション協会による地場製品の売 上額	4,021万円	5,000万円	
	道の駅の来訪者数	—	37万人	

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
エ	諫早市域から排出される温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	1,290 千 t-CO <sub>2</sub> (H25年度)	688 千t-CO <sub>2</sub>	基本目標4
オ	介護認定申請を受け付けてから決定するまでの日数	平均39.3日	平均30日	基本目標5
	諫早市シルバー人材センター会員登録数	409人	489人	
	「ふれあいいいきサロン」(介護予防活動)延べ参加者数	21,579人	24,300人	
	準用河川及び普通河川における浚渫件数(累計)	16件	50件	
	防災マップ作成率	89.4%	100%	
	市公式SNSフォロワー数と防災メール登録者数	51,752件	75,000件	
	交通事故による重傷者数	31人	26人以下	
	運転免許証返納者支援事業の活用人数	391人	450人	
	汚水処理人口普及率の向上	93.6%	97.1%	
	老朽危険空家等除却助成事業による解体件数	8件	10件	
	市関係公共施設のバリアフリー化に関する苦情件数	0件	0件	
橋梁定期点検実施数(累計)	1,917橋	2,974橋		

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
オ	橋梁長寿命化対策実施数(累計)	64橋	113橋	基本目標5

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

諫早市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア チャレンジできるまちをつくる事業
- イ 産業が活力を生み出すまちをつくる事業
- ウ 人を育む学びのまちをつくる事業
- エ 誇りと賑わいのあるまちをつくる事業
- オ 持続可能なまちをつくる事業

#### ② 事業の内容

ア チャレンジできるまちをつくる事業

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。

#### 【具体的な事業】

- ・まちづくりサポート事業
- ・地域おこし支援事業 等
- イ 産業が活力を生み出すまちをつくる事業
 

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じるこ

とができる雇用を創出する。

【具体的な事業】

- ・ 中小企業振興資金融資事業
- ・ 企業誘致事業 等

ウ 人を育む学びのまちをつくる事業

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。

【具体的な事業】

- ・ デジタル活用支援推進事業
- ・ 女性のための再就職セミナー開催事業 等

エ 誇りと賑わいのあるまちをつくる事業

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。

【具体的な事業】

- ・ 市内スポーツ施設を活用したスポーツ交流人口拡大事業
- ・ 観光情報発信事業 等

オ 持続可能なまちをつくる事業

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創る。

【具体的な事業】

- ・ 地域防災力向上事業
- ・ コンパクトシティ形成事業 等

※なお、詳細は第3期諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））  
4—3の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,000,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度（9月頃）に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。検証後速やかに諫早市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から2031年3月31日まで

**6 計画期間**

令和8年4月1日から2031年3月31日まで